

進捗状況の概要

○事業実施体制

室蘭工業大学内において、本事業を統括する学長をトップとした全学的組織「COC+本部会議」、社会連携、教育、研究、キャリア・サポート関係教員と事務局が構成員となり、COC+推進に関する企画立案を行う「COC+コアメンバー会議（教育改革チーム、地域協力・研究企画チーム、広報・渉外チーム）」、事業に関する実務を行う「地（知）の拠点推進室」及び「COC+札幌連絡所」を設置し、全学体制での事業推進体制を構築した。また、COC+推進コーディネーター1名、非常勤コーディネーター1名を採用し、それぞれ、地（知）の拠点推進室、COC+札幌連絡所において、参加校、事業協働機関等外部との窓口となり、外部との連携を進め、併せて、商工会議所や中層企業を訪問し、そこで得た地域社会のニーズを北海道COC+コンソーシアム協議会等において提供、協議を行い、地域就職率向上、地域へのインターンシップ拡充、雇用の創出等に係る各種施策への反映を行った。

魅力ある就職先や雇用を創出・開拓するために室蘭工業大学及びCOC+参加校、地方公共団体との間で、「北海道における雇用創出・若者定着に係る協定」を締結した。

産学官金のオール北海道体制である北海道COC+コンソーシアムを創設し、コンソーシアム内に参加校、事業協働機関による北海道COC+コンソーシアム協議会（協議の場）を立ち上げ、協議会を2回開催し、事業協働機関との役割分担及び連携体制の明確化を図った。更に北海道COC+コンソーシアム協議会において決定した計画等を具体的に進める北海道COC+コンソーシアム実務者会議を立ち上げ、2回開催し、域内の課題解決に向けて事業を推進した。

○カリキュラム改革・地域が求める人材教育システムの構築

地（知）の拠点整備事業選定大学等の先進的な教育プログラムや学生参加型の先行事例を調査したうえ、北海道地域の特性を理解した地域産業を担う高度な地域人材を育成するため、室蘭工業大学において、平成28年度入学生向けに地方創生推進教育プログラムを構築した。

また、視聴覚に訴える効果的な地域教育・地域課題教育（地域対応型アクティブラーニング）を実施するためのICT教育システムを各校に整備したほか、北海道内の各教育機関が互いに連携をとり、それぞれが有する教育プログラムを活用し、北海道が必要とする人材を育成するために、室蘭工業大学、北見工業大学において遠隔授業のためのテレビ会議システムを整備した。

企業の技術革新、新規事業創出を支援する目利き人材を育成するために、金融機関職員を対象とした「ものづくり目利き塾」を開催した。

○地元就職に係るイベント・広報関係

学生に地元企業の魅力を伝え、学生への就職への動機付けを行うため、学生を対象としたビジネスEXPOの見学会、北海道と連携した地元企業の見学会、企業説明会を行ったほか、教職員が地元企業の実態を把握し、今後の学生向け企業見学会の企画、実施に向けての知見を得ることを目的に、教職員を対象とした地元企業見学会を旭川市、釧路市で行った。

事業の取組みを広く周知し、COC+事業への理解を深めるために、事業紹介パンフレットを作成・配付したほか、事業のキックオフイベントとして、3月に札幌でCOC+事業発足記念シンポジウムを開催し、それに併せて、室蘭工業大学の自己財源により、北海道新聞の一面に地方創生の取組みを掲載した。

その他、札幌市、苫小牧市、釧路市、旭川市において地元企業や学生が参加する、COC+フォーラム、セミナー等を開催した。